

# 平成26年度 新たな学校防災教育モデル校の取組

仙台市立長町中学校

## 1 重点取組事項

- ◎ 学校と地域への定着を目指した防災教育の在り方

## 2 区全体や他校と連携した取組

- (1) 太白区小中学校防災主任連絡協議会

① 8月5日(火) 第1回 太白区小中学校防災主任連絡協議会 全体会

② 8月5日(火) 防災フォーラムin長町「防災教育と地域連携」の開催  
→ 太白区の小中学校の職員, PTA, 太白区役所, 地域住民, 東北大学災害科学国際研究所等との連携。

③ 12月17日(水) 第2回 太白区小中学校防災主任連絡協議会 全体会

- (2) 長町中学校区小中連携協議会「防災教育連携部会」(長町小, 鹿野小, 長町南小, 長町中)の取組

・ 定期的な「部会」の実施

→ 各校の防災担当主幹教諭・防災主任による, 企画立案, 情報交換の場

→ 「小中9年間を見通した防災教育の流れ」についての確認と実施

- (3) 防災フォーラムin長町「防災教育と地域連携」【8月5日(火)】の主催

→ 太白区の小中学校の職員(太白区小中学校防災主任連絡協議会), PTA, 太白区役所, 地域住民, 東北大学災害科学国際研究所等との連携。

- (4) ながまち学びネット(太白区中央市民センター)との連携

→ 「ながまちこどもぼうさいキャンプ」の運営への参加

- (5) 長町中学校区青少年健全育成連絡協議会との連携

→ 「防災キャラクター」の選定



## 3 区全体や他校と連携した取組の成果

- (1) 平成25年度(昨年度)に, 太白区小中学校防災主任連絡協議会を立ち上げた。太白区の防災主任の情報交換などを定期的に行うことで, 各校における防災教育の取組に生かすことができた。また, 防災フォーラムをはじめとし, 様々な活動を展開していくことが可能となった。

- (2) 防災教育連携部会にて, 情報交換を行う機会を定期的に組むことにより, 学校間で取組状況や問題点を共有することができ, 解決策やノウハウの情報などを自校の防災教育に生かすことができた。また, 本部会小中9年間を見通した防災教育の流れを策定することができ, 学区内の小学校による大きな格差なく防災教育を受けた状態で中学校に入学してくる状況を作ることができるようになっている。

- (3) 防災フォーラム「防災教育と地域連携」の実施により, 役所・地域・学校で避難所に関わる運営の在り方を探った。また, 学校の防災教育の取組に関し児童生徒より発表を行った。防災に関し地域啓発をすると共に, 地域・学校・行政が目指す方向性を確認し, それぞれの立場で必要とされる取組を見いだすきっかけになった。

- (4) ながまち学びネットの行事の中に, 本校が主催で行う様々な取組に対し, 共催の承認を頂いた。このことにより, より安定した取組を行えるようになっている。また, 小学生が対象である「ながまちこどもぼうさいキャンプ」等に, 本校の生徒もお手伝いとして参加させるなど, 小中連携も深めることに繋がった。

- (5) 小学校と連携し「防災キャラクター」を募集し選定した。小中連携で防災教育の意識向上を図ることができた。



## 3 本校校における取組

- (1) 全体計画・年間指導計画の見直しや作成

- (2) 多様な避難訓練の実施

① 時間: 授業時間。

状況: 地震による電源喪失, 2次避難場所への避難。

② 時間: 職員・生徒に予告なし(1校時終了時の休み時間実施)。

状況: 地震による火災発生, 階段封鎖状態での避難。

③ 集団下校訓練: 学区内を12地区に分け, 災害時を想定し生徒を誘導・帰宅させる。

- (3) 防災教育副読本の活用  
→ 年間計画への位置づけと共に、計画に沿った活用を行った。
- (4) 防災講話の実施
  - ① 1学年：山形大学教職大学院教授 村山良之氏による「防災について学ぶのはなぜ？」の講話。
  - ② 2学年：環境経営学会理事 若尾久氏による「命の授業」の講話。
  - ③ 3学年：気仙沼市立唐桑中学校教諭 七宮克徳氏による「こころがまえ」の講話。
- (5) 長町中学校区 防災訓練の実施
  - ① 対象：1学年
  - ② 内容：「クロスロード」「濃煙体験」「炊き出し訓練」「備蓄物資搬出・搬入訓練」「NTT-171災害用伝言ダイヤル」仮設トイレ設置訓練「救急訓練」「消防訓練」
- (6) 安否確認訓練の実施
  - ① 対象：1学年
  - ② 内容：地域の民生委員の方々（55名）を招き、自分の住んでいる地区を原則とした、老人宅を訪問。
- (7) 救急救命講習の実施
  - ① 対象：2学年
  - ② 内容：学年を2つに分け、2日間にわたり消防署より講師を招き、「救急入門コース」を受講。
- (8) とともに！チーム長町プロジェクトの実施
  - ① 対象：学区内小中学生の希望団体、または個人。及び地域団体（町内会等）
  - ② 内容：生徒会主催の行事とし、学区の小学校と地域団体と連携し実施した。募金活動、花植え活動、挨拶運動、清掃活、被災地訪問などを行った。



#### 4 自校における取組の成果

- (1) 「全体計画、年間指導計画の見直しや作成」を行うことにより、校内において、防災教育の画が見える形で提示することにより、職員がより計画的に防災教育に取り組むことができるようになった。
- (2) 多様な避難訓練を実施すること。また、より現実的な避難訓練を体験させ、生徒・職員の災害時における意識及び行動を明確化すると共に、その対応力を向上させることに繋がった。
- (3) 地域との連携が一層定着した。
  - ① 様々な地域団体と連携した取組を行い、それぞれの団体から様々な反省や意見を頂いたことを踏まて、今年度の取組を行った。そのように互いの意見を反映させることにより、地域団体も意欲的に中学校の取組に協力する姿を見せて頂くことができた。
  - ② 生徒も地域団体と密接な関係で取組を行うことができ、地域に期待されていることや災害時の関わり方への意識改革を行うことができた。
- (4) 自助・共助の力を身につけていくことが、様々な方々と関わりながら社会において自立していくことを目指した「自分づくり教育」の推進につながった。
- (5) 防災教育にかかわる校内体制として「保健・安全・管理部会」を位置づけたことにより、組織体制が強化され、校内体制での取組がよりスムーズなものとなった。また、そのことにより、防災教育の定着を図ることができた。
- (6) 避難所準備委員会が順調に機能し、今年度からは、避難所準備委員会の方々が長町中学校区防災訓練「備蓄物資搬出・搬入訓練」に講師として生徒と関わることができた。